

議会ナビ まいづる

No.

202

令和8年(2026)

8月23日



特集

市内高校生に聞いてみた

私たちならこう作る！「議会ナビまいづる」

- 令和8年度一般会計補正予算
- 6月定例会一般質問

聞いてみた 「議会ナビまいる」



高校生との意見交換～

西舞鶴高校
帆崎さん



東舞鶴高校
塩谷さん



西舞鶴高校
高橋さん



東舞鶴高校
大槻さん



高校生から見た「議会だより」

- ・初めて読みました
- ・教科書より隙間がない
- ・専門用語が多すぎる
- ・写真が少ない
- ・伝えたいことがわからない

若者が読みたいするには

- ・目を引く特集記事
- ・イラストを入れる
- ・SNSで宣伝する
- ・身近な話題を書く

特集

市内高校生に 私たちならこう作る！



～舞鶴市議会×

西舞鶴高校・東舞鶴高校・日星高校の9人に参加していただきました

意見交換を通じてたくさんの意見をいただきました。参考に議会だよりのリニューアルを進めていきます。裏表紙に意見募集の二次元コードがありますので多くの方が「読みたくなる」議会だよりのご意見をお待ちしています。

日星高校
小西さん



日星高校
東さん



文字が多いのを改善してほしいです。でも北陸新幹線の話とか今まで気にしなかった知識も得られて面白かったです。

日星高校
坂本さん



読んでみて舞鶴への解像度が大きく深くなりました。多くの方が読みたくなるにはSNSの活用が大事だと思います。

西舞鶴高校
三宅さん



私たちには紙面が読みにくいページが多かったです。見やすく若い人が目に止まるトピックを増やしてください。

東舞鶴高校
吉田さん



「市民と議会のわがまちトーク」を開催しました

「市民と議会のわがまちトーク」は、各常任委員会が設定したテーマに沿って、市民の皆さまと議員が舞鶴の課題や展望について、一緒に考える意見交換会をワークショップ形式で行うものです。

皆さまでいただいた貴重なご意見は、各委員会における調査や議論を踏まえて、市への政策提言につなげてまいります。

開催日程	テーマ	所管委員会
4月18日(土) 午前	児童生徒の不登校への対策 ～未来を切り拓く子どもを育成するための教育環境づくり～	市民文教委員会
4月18日(土) 午後	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるための支援 ～ケアラー支援条例の必要性について～	福祉健康委員会
4月19日(日) 午前	これからの公共施設と私たちの暮らし ～これからも安心して暮らせるように～	総務消防委員会
4月19日(日) 午後	創業・起業の支援について ～一歩踏み出すための支援を考える～	産業建設委員会

市民文教委員会

テーマ 児童生徒の不登校への対策

～未来を切り拓く子どもを育成するための教育環境づくり～

参加者 25人

(不登校児童生徒に携わっておられる方、不登校児童生徒の居場所づくりに携わっておられる方、民生児童委員、保護者、公募の方々)

主な意見

- ◆ 学校での居場所づくりの取り組みも必要なため、学校のユニバーサル化や校内教育センターの設置など、学校内にも不登校対策に必要な居場所を確保する。不登校問題を担任個人の責任にせず、教師全体で対応する仕組みづくりやフリースクール等他の関係機関との連携・協働の取り組みが必要。
- ◆ ゴール設定を変えるべき。学校がゴールではない。子どもが学校に行けないと親も仕事に行けず経済的な問題も発生する。少し預かってくれる施設がほしい。居場所づくりのためにフリースクールを増やしてほしい。
- ◆ 教育環境面では個性を認め合う環境づくりが重要であり、ここにいて良いと感じる居場所となるよう教育環境を整える。教育方針として、児童生徒そして先生の個性を発揮できる環境づくりを強化するよう、教育委員会や学校に求めていくことが重要。



福祉健康委員会

テーマ 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるための支援

～ケアラー支援条例の必要性について～

参加者 23人

(介護を経験されている方、介護者の会に入っておられる方、施設介護経験者、障害者の方と生活されている方、家族支援関係団体に所属の方、公募の方々)

主な意見

- ◆ 介護と仕事の両立は深刻な課題であり、休息(レスパイト)を確保できる仕組みの拡充や、介護者が孤立せず安心して働き続けられる環境づくりが必要。
- ◆ 支援情報が不足し相談先が分からないとの声が多く、行政による積極的な情報発信に加え、誰もが迷わず迅速に専門機関へつながる相談窓口や体制の構築が必要。
- ◆ ケアラー支援条例には、理念にとどまらない具体的な支援策や庁内横断的な連携体制の構築を含め、社会的認知を高めるとともに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる実効性ある内容にすることが重要。



総務消防委員会

テーマ これからの公共施設と私たちの暮らし
～これからも安心して暮らせるように～

参加者 26人 (公共施設を日頃から利用されている方々、
高校生(西舞鶴高校、東舞鶴高校、日星高校)、
公募の方々)

主な意見

- ◆ 公共施設が減り、施設までの距離が延びることで、タクシーやバスの利用などでの移動にお金がかかり、行く回数も減ることにつながる。公共施設までの足の確保をどうするかが課題になる。
- ◆ 芝生広場や交流広場の整備、市民が自由に利用できる交流スペースの拡充、公共施設料金の引き下げなど、利用しやすさを高めてほしい。
- ◆ 施設の統合や廃止を行うのであれば、存続する施設に広い駐車場が絶対に必要。すぐいっぱいになるような駐車場は、かえって使い勝手が悪い。



産業建設委員会

テーマ 起業の支援について
～一歩踏み出すための支援を考える～

参加者 24人 (商工会議所、商工会議所青年部、学生(舞鶴工業
高等専門学校、京都職業能力開発短期大学校)、
青年会議所、公募の方々)

主な意見

- ◆ 学校では進学・就職等の情報はあがるが起業についての情報は不足しているため、今後は学生に対しても関係機関からの起業教育(情報提供)が必要。
- ◆ 起業前のサポート(補助金等)だけでなく、起業後の不透明さ(軌道に乗るまでの不安)に対応できるような、起業前後を通じた伴走支援が重要。
- ◆ 創業・起業する上で必要な法務、税務、許認可等のルールを知る機会が少ないので実務に関わる講座などの学ぶ機会の確保や、気軽に立ち寄れて相談できるスタートアップカフェのような窓口が必要。



※「市民と議会のわがまちトーク」の内容は、委員会別に報告書を作成し、ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

福祉健康委員会

令和8年5月12日(火)～13日(水)

- 1 兵庫県 川西市
病院機能の再編と地域医療体制の構築、川西市立総合医療センターの現状について
- 2 神奈川県 鎌倉市
家族介護者等への支援及びケアラー支援条例の推進について

産業建設委員会

令和8年5月11日(月)～13日(水)

- 1 山口県 宇部市
創業・起業支援について
- 2 大分県 中津市
創業・起業支援について
- 3 大分県 日田市
浸水対策について

市民文教委員会

令和8年5月18日(月)～20日(水)

- 1 岐阜県 美濃市
「あんきに行ける学校プロジェクト美濃」について
- 2 愛知県 小牧市
第2次小牧市学校教育ICT推進計画について
- 3 長野県 長野市
不登校児童生徒の支援体制について

総務消防委員会

令和8年5月18日(月)～20日(水)

- 1 滋賀県 彦根市
彦根市公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントの推進について
- 2 神奈川県 平塚市
地区防災計画の作成や自主防災組織への支援策について
- 3 静岡県 焼津市
焼津市立東益津小学校・東益津公民館の複合化について

議会運営委員会

令和8年4月22日(水)～23日(木)

- 1 岐阜県 可児市
議会改革の取組について
- 2 岐阜県 瑞浪市
議会改革・活性化の取組について

委員会の視察報告

舞鶴市議会の委員会では、議会活動のさらなる活性化に向けて、また、他市の先進地の事例を市政に生かすため、調査視察を実施しました。

視察先及び視察項目は次のとおりです。

詳しくは、舞鶴市議会ホームページをご覧ください。



6月定例会のあらまし

- 待機児童ゼロおよび子育て環境の充実を図るため、私立幼稚園が目指す幼保連携型認定こども園への移行を支援、国の「放課後児童クラブ利用手続き等に関わるDX推進実証事業」に採択されたキャッシュレス決済の導入等による支援員の事務負担軽減や保護者の利便性の向上、複数の団体での共同利用を条件に荒廃した里山林整備を実施するための機械購入に対する支援、体育施設整備事業費（再生可能エネルギー設備等導入分）で伊佐津川運動公園へのナイター設備導入に向けた再生可能エネルギー活用の調査・検討と併せて同所を防災拠点として機能強化を図るとされた令和8年度舞鶴市一般会計補正予算（第1号）を可決
- 物価高騰が市民生活や市内事業者の経営に深刻な影響を及ぼし続ける中、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の追加配分を活用し、本市の水道基本料金の無料期間を6カ月から8カ月へと延長するとして令和8年度一般会計補正予算（第2号）および令和8年度水道事業会計補正予算（第1号）を可決

令和8年舞鶴市議会6月定例会は、6月3日から7月2日までの30日間開催されました。6月定例会に市長から提案された議案は、令和8年度一般会計補正予算のほか、条例の一部改正などの19議案で、審議の結果、全議案を原案のとおり可決・承認・同意しました。

予算決算委員会の 主な審査内容

令和8年度一般会計
補正予算（第1号）

放課後児童クラブDX
推進事業費

Q 実証実験後のラン
ニングコストはいくら
かかるのか

A 令和9年度以降のランニングコストについては、本実証事業の成果やシステム仕様の最適化を踏まえ、導入計画の策定段階等において詳細を精査する。

森林整備推進事業費補助金

Q 補助金の内容・目的は

A 里山林の荒廃が進行する一方で、整備を担う地域の高齢化や人口減少により里山林整備活動が困難になりつつある。そのような中、複数団体での共同利用を条件として、森林整備用機械の購入を補助することで、作業の効率化を図るとともに、団体間の連携強化によ

り地域コミュニティを活性化し、担い手不足の解消を目指すもの。

令和8年度一般会計
補正予算（第2号）

Q 市独自の物価高騰
対策の予算を計上する
考えはなかったのか

A 令和7年12月定例会と令和8年3月定例会で全ての市民と事業者の皆さまへ支援を行うための総額12億円を超える規模の予算を可決している。また、国においては、総額3・1兆円の補正予算が可決・成立したところであり、これらを連動させ、スピード感を持って進めていく。

令和8年度水道事業
会計補正予算（第1号）

（水道事業会計）水道
基本料金無料事業費

Q 延長する理由は

A 長引く物価高騰の影響を受けている市民や事業者の負担軽減を図り幅広く支援するため、無料となる期間6カ月間を、さらに切れ

目なく2カ月延長し、8カ月とすることとした。

常任委員会の主な 審査内容

市民文教委員会

舞鶴市立学校条例の一部を改正する条例
制定

児童減少が続く吉原小学校では、多様な交流や学びの機会の確保に向け、保護者や地域が主体的に議論を重ねて明倫小学校との統合を要望した。要望内容が、舞鶴市学校規模適正化ビジョンの方向性と一致することから、市は令和9年4月1日の統合に向け準備を進めるもの。



本会議において付託された議案は、福祉健康委員会1件、市民文教委員会2件、産業建設委員会3件、総務消防委員会6件、予算決算委員会4件であり、それぞれの委員会で審査しました。令和8年6月3日の本会議初日および7月2日の最終本会議において、提案された議案に対して討論を行いました。

常任委員会の審査報告

Q 要望書にある安全な通学路の確保に対する方向性は

A 子どもたちが安心して通学できるよう、関係機関と調整し通学路の安全対策を進める。

福祉健康委員会

舞鶴市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定

地方自治法の改正に伴い、引用する条項を改めるもの。

産業建設委員会

舞鶴市都市公園条例の一部を改正する条例制定

「五老ヶ岳公園展望タワー」の開館時刻を、原則午前9時から午後5時までとしつつ、利用実態に応じた柔軟な施設運営を可能とするもの。

舞鶴市吉原伝統的建造物群保存地区内における建築基準法の制限の緩和に関する条例制定

歴史的景観を保存し

つつ、現行の建築基準法に適合させることが困難なため、保存活用を目的とした修理等ができるように制限の緩和を行うもの。

総務消防委員会

市税条例の一部を改正する条例制定

地方税法の改正に伴い、固定資産税の免税点の引き上げや、改修特別特定建築物に係る固定資産税の特例措置（わがまち特例）の割合を定める規定の新設等を行うもの。

Q わがまち特例の減額率は、全国的に同様の割合なのか

A 国が示す参酌基準の割合を採用しているため、同様の考え方の自治体は、同じ割合であると思われる。



討論

全てにおいて公平な市民支援を願う

公明党議員団

全議案に賛成する。

令和7年度一般会計補正予算（第10号）は年度末に至り、財源更正が実施され、財政の健全化が進められたものと評価する。

待機児童ゼロおよび子育て環境の充実を図る幼保連携型認定こども園への移行支援、国の「放課後児童クラブ利用手続きに関わるDX推進実証事業」に採択されたキャッシュレス決済導入等による子どもの見守り・居場所づくりの環境整備、共同利用を条件とした森林整備の機械購入支援、



機能強化が期待される伊佐津川運動公園

国の「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」に係る補助事業に採択された伊佐津川運動公園へのナイター設備導入に向けた再生可能エネルギー活用調査・検討と防災拠点としての機能強化を図るとされた令和8年度一般会計補正予算（第1号）に賛成する。

討論

水道料金無料化延長は営業・くらし支援

日本共産党議員団

全議案に賛成する。

令和8年度補正予算は、「私立認定こども園移行改修費補助金」「放課後児童クラブDX推進事業費」「森林整備推進事業費補助金」「体育施設整備事業」いずれの事業も市民の要望も強く、必要な補正予算であり賛成。

最終日の追加補正議案は、国からの交付金と、財政調整積立金の繰り入れで、水道料金の無料期間を2カ月延長する事業。これにより、無料化は全8カ月となる。全家庭、全事業所に対し底上げ支援

無料となる水道基本料金額

用途区分	口数等	基本料金（税込）	
		1ヶ月	6ヶ月
事業用	—	0円まで	0円
	25m ² 以下	1,556円	9,336円
	40m ²	2,604円	15,624円
	50m ²	4,772円	28,632円
	70m ²	7,170円	43,020円
	100m ²	10,040円	60,240円
事業用	130m ² まで	—	—
	150m ²	20,127円	120,762円
	200m ²	32,993円	197,958円
	250m ²	45,862円	275,172円
公衆用	—	0円まで	0円

第2弾の水道料金無料措置（今回第3弾の無料措置決定）

になることから賛成。「舞鶴市吉原伝統的建造物群保存地区内における建築基準法の制限の緩和に関する条例制定」は、日常生活に大きな影響を及ぼすことから、その対策と、地区の恒常的な課題である、高潮対策を講じての事業化を望む。

令和 8 年 6 月 3 日の本会議初日および 7 月 2 日の最終本会議において、提案された議案に対して討論を行いました。

討 論

討 論

市民福祉の向上と 地域活性化に期待する 自民党鶴政クラブ議員団

全議案に賛成する。

令和 8 年度一般会計

補正予算（第 1 号）については、幼保連携型認定こども園への移行に伴う施設整備への支援により、待機児童ゼロの継続と子育て環境の充実を図るとともに、市内 29 力所の放課後児童クラブにおいて DX を推進し、事務負担の軽減と児童の見守り体制の充実を図るものである。

また、森林整備用機械の購入支援により、作業の省力化や地域間連携の強化、森林整備の担い手不足の解消に



伊佐津川運動公園に夜間照明導入を検討

つながる。

さらに、防災拠点でもある伊佐津川運動公園では、国の有利な補助制度を活用し、再生可能エネルギーを活用したナイター設備の導入を検討するもので、スポーツ環境の充実と地域振興、防災機能の向上につながるものと評価する。

いずれの事業も、市民福祉の向上や地域活性化に資する重要な施策であり、全議案に賛成する。

討 論

的確な予算執行と 必要な予算取りを 新政クラブ議員団

全議案に賛成する。

令和 8 年度一般会計

補正予算（第 1 号）は、認定こども園への移行に必要な施設整備を支援して待機児童ゼロを堅持し、今後、除却となると、さらに予算が必要となるため、国の補助金確保に努められたい。放課後児童クラブ DX 推進事業費は、園と保護者がスマホやタブレットで円滑にやり取りできるツールにより支援員の負担軽減を図り、児童の見守り時間を安定的に確保し、安全で安心な居場所づくり体制が整備される。

ランニングコストなどの見直しについても十分検討されたい。

体育施設整備事業費の再生可能エネルギー設備等導入分は、伊佐津川運動公園へのナイター設備導入に向けた検討に 2 千万円を計上。市民から設置を望む声もあり、防災拠点への有利な補助金が確保された。国道に隣接していることから、光の当たり具合により車の運転に影響が出ないよう十分調査し、工事への補助金確保にも万全を期されたい。



ナイター設備導入に向けしっかりと計画を

討 論

財源確保に鴨田市長、 市職員に感謝する 超党・市民ファースト議員団

全議案に賛成する。

令和 8 年度一般会計

補正予算（第 1 号）は、裕福な市財政でない本市にとって 10 分の 10 全額補助の「子ども・子育て支援事業費補助金を活用した、放課後児童クラブ DX 推進事業」や「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金（定額）を活用した体育施設整備事業」は、本場にあり

がたい。鴨田市長をはじめ市職員の努力に感謝する。体育施設整備事業は、伊佐津川運動公園のナイター設



観光名所の吉原入江

備導入可能性調査で、スポーツに親しめる環境づくりと防災拠点としての機能強化に大いに期待する。

吉原のまちづくりに
期待

吉原伝統的建造物群保存地区内における建築基準法の制限緩和に関しては、居室の採光に関する制限や道路内の建築制限の緩和などを行うもので、良好な生活環境の形成につながるものと考ええる。住宅に火災報知器や消火器を設置しなければならぬが、当地区は道幅が狭いので、市としても防火対策には取り組んでいきたい。

議案の採決結果 (令和8年6月定例会) 会期6月3日～7月2日



令和8年6月定例会での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市のホームページでも公表しております。

全会一致で可決した予算議案

- 専決処分の承認を求めることについて(令和7年度舞鶴市一般会計補正予算(第10号))
- 令和8年度舞鶴市一般会計補正予算(第1号)
- 令和8年度舞鶴市一般会計補正予算(第2号)
- 令和8年度舞鶴市水道事業会計補正予算(第1号)



全会一致で可決した条例議案

- 専決処分の承認を求めることについて(舞鶴市市税条例の一部を改正する条例制定)
- 舞鶴市市税条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市吉原伝統的建造物群保存地区内における建築基準法の制限の緩和に関する条例制定について
- 舞鶴市都市公園条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市立学校条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市印鑑条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について

全会一致で可決したその他の議案

- 京都地方税機構規約の変更について

令和7年度 政務活動費の支出
内容は舞鶴市議会ホームページに掲載しております。



全会一致で同意・可決した人事議案

- 農業委員会委員の任命について
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 人権擁護委員候補者の推薦について

令和7年度 議長交際費の支出
内容は舞鶴市議会ホームページに掲載しております。



農業委員会委員の任命

農業委員会委員の任期満了に伴い、令和8年7月2日の本会議で次の委員を任命することに同意しました。

今田 寿孝氏	岩崎 俊彰氏	岡本 厚美氏	尾上 亮介氏	栢分 良明氏	嵯峨根 秀樹氏
坂本 武氏	櫻井 成親氏	左近 正之氏	霜尾 共造氏	立山 昇氏	田中 まり氏
田端 一男氏	林 浩二氏	藤村 順一氏	前田 隆文氏	村上 工氏	山下 宏之氏
吉田 知敬氏					

固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、令和8年7月2日の本会議で次の委員を選任することに同意しました。

再任：池田 雄治氏

表彰

全国市議会議長会第102回定期総会におきまして、舞鶴市議会から3人の議員が表彰されました。

- 全国市議会議長会議員在職35年以上特別表彰(平成2年12月5日から35年以上在職)

高橋 秀策 議員

- 全国市議会議長会議員在職15年以上表彰(平成22年12月5日から15年以上在職)

谷川 真司 議員 水嶋 一明 議員

令和8年6月15日、16日、17日に本会議を開き、23人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

令和8年 舞鶴市議会 6月定例会 一般質問

令和8年6月15日、16日、17日

順番	質問方式	氏 名	質 問 事 項	
1	一問一答	今西 克己	1 ツキノワグマ対策について 3 大庄屋上野家について	2 由良川下流部輪中堤概成後の現状等について
2	一問一答	南 正弘	1 ムスリムについて	2 市内の景観について
3	一問一答	小杉 悦子	1 イラン情勢下、深刻な暮らしや営業への影響と支援策について 3 「防災ラジオ（防災ラジオ受信機）」のさらなる活用で災害時の情報伝達手段を充実させることについて	2 教育環境の在り方について
4	2分割	仲井 玲子	1 「知の総和」の還流による組織力向上と社会教育の機能強化について	2 不登校児童生徒の「心の回復」を支える環境づくりと社会教育の役割について
5	一問一答	上羽 和幸	1 次期総合計画について 3 不登校の対策について	2 北陸新幹線舞鶴ルートについて
6	一問一答	眞下 隆史	1 ウズベキスタン共和国リシタン地区との姉妹都市提携について	2 近代化遺産を活かした、目指す市の方向性について
7	一括	水嶋 一明	1 図書館の再編について	
8	一問一答	伊田 悦子	1 不登校支援としての子どもの居場所、学びの場の条件整備について 3 本市の平和の取組について	2 子育てに関する窓口の集約について
9	一問一答	廣瀬 昇	1 地域医療の再編と途切れない救急・医療サポート体制の構築について 3 のら猫不妊去勢手術費補助金の実績と持続可能な制度について	2 認知症施策の深化と当事者主体の地域共生社会の実現について
10	一問一答	松田 弘幸	1 観光客の増加やイベントによるトイレ不足について 3 東地区中心市街地エリアの回遊策について	2 移動期日前投票所について 4 遊漁船業法改正に伴う市内事業者への安全対策支援と独自の補助制度創設について
11	一問一答	野瀬 貴則	1 AIを活用した市政運営と弊害の対策について	2 新たな地域コミュニティ構築で地域がどう変わるのかについて
12	一問一答	上野 修身	1 本市の災害状況について	2 本市の消防体制について
13	3分割	小西 洋一	1 本市の令和8年度人事について 3 酷暑から「市民の命と健康を守る」施策について	2 データセンターとの共生について
14	一括	高橋 秀策	1 ウズベキスタン共和国フェルガナ州リシタン地区との姉妹都市提携について 3 まち案内・歩行者系公共サインについて	2 中総会館の子育て部署集約について
15	一問一答	杉島 久敏	1 孤独・孤立対策について	2 子どものSNS利用に関する被害対応策について
16	一問一答	眞下 弘明	1 舞鶴市に所在する学校でのいじめについて	
17	一問一答	川口 孝文	1 中学校部活動の地域展開（まいかつ）の進捗等について 3 クマ対策の状況について	2 中学校給食について
18	一問一答	小谷 繁雄	1 学校における遊具及び体育館の運営管理体制について	2 身寄りのない高齢者支援体制について
19	一問一答	田畑 篤子	1 地域医療の動向について 3 JR東舞鶴駅前整備について	2 青少年の健全育成について 4 地域行事支援について
20	一問一答	谷川 眞司	1 浪速橋について 3 ドクターヘリ運休について	2 地域と共に行う環境美化活動について 4 不登校支援について
21	一問一答	福本明日香	1 有害鳥獣対策について 3 不登校支援と学校生活相談係について	2 起業支援について
22	一問一答	山本治兵衛	1 中学校休日クラブ活動の地域展開について 3 北陸新幹線舞鶴ルートについて	2 舞鶴市の人事について
23	一問一答	尾関 善之	1 電子投票の取組について	2 少子化対策について

※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式
※2 分 割…質問項目を分野ごとに2回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
※3 分 割…質問項目を分野ごとに3回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式
※質問事項のうち、各議員が記述の主な質問事項以外の詳細は、ホームページをご覧ください。
※本会議については、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページをご覧ください。

舞鶴市議会

検索



一般質問通告要旨



一般質問一覧表

高校生との意見交換会

わがまちトーク

視察報告

あらまし

委員会審査

討 論

採決結果

一般質問

ほっとミーティング

意見募集

定例会予定

令和8年6月15日、16日、17日に本会議を開き、23人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問



わなから逃れようとしているツキノワグマ

Q くくりわなにかかったツキノワグマの捕獲の連絡を受けた際、舞鶴市は、現場での受傷事故防止に向けた対応と指導をどのようにしているのか問う。

A 通報を受け現場に到着した市職員は、現場周辺の安全を確保するため、周辺の状況を確認し、状況に応じて住民への注意喚起や立入制限を行っている。



新政クラブ議員団
今西 克己

質問の
録画映像



市道沿いに生えている草木

Q 例として示した3カ所の除草の予定と、市道、河川等の草木の伐採については、いくら草木が伸びようとも時期を変えないのか。

A 3路線の除草は、7月、9月にそれぞれ予定している。安全上の懸念がある場合には、時期にとらわれることなく速やかに実施する。



自民党舞鶴政クラブ議員団
南 正弘

質問の
録画映像



資材不足で先行きが不安

Q イラン情勢下、地域経済に影響が出ており、今後も深刻になると心配されるため、対策が必要。国と府への対策強化の要望や、市の支援策を求める。

A 舞鶴市産業支援プラットフォームを通じて情報共有を図り、厳しい状況は認識。これまでから全国・近畿市長会で財源確保等の要望や決議をしている。



日本共産党議員団
小杉 悦子

質問の
録画映像



「18歳中心主義」からの脱却と、開かれたエコシステムへの転換
中央教育審議会答申が示す「学び続ける社会」のグランドデザイン
文部科学省 提言「18歳中心主義」の脱却と、開かれたエコシステムへの転換
中央教育審議会 提言「18歳中心主義」の脱却と、開かれたエコシステムへの転換
国策の持続的発展を促す「18歳中心主義」の脱却



少子化により人の数(18歳人口)の減少が懸念されている中、日本社会が持続的に発展・開かれた社会となるためには、全世代の「人の能力」を積極的に引き上げることが必要です。

人口減少時代の「知の総和」の向上

Q 人口減少で人材確保が困難な中、役職定年職員の戦略的活用は。また、公民館の機能強化と不登校の子どもへの心の回復と社会的自立の取り組みは。

A 経験豊富な職員の活用など「多様な知」を結集する。ゆるいつながりの学びのコミュニティの公民館運営へ。不登校児童生徒の「社会的自立」を推進。



超党・市民ファースト議員団
仲井 玲子

質問の
録画映像



不登校の児童生徒・家族への寄り添った支援と根本的な解決を

Q 不登校は現代社会の最重要課題である。根本的な解決のため協議の場を設置するとともに、不登校に効果が高い訪問支援員の配置を願うが考えを問う。

A 専門家や有識者等から助言をいただく機会を設けたい。教育支援センターの支援員などが訪問支援をしてきた。支援体制の充実を図っていく。



公明党議員団
上羽 和幸

質問の
録画映像



令和 8 年 6 月 15 日、16 日、17 日に本会議を開き、23 人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問



新たに姉妹都市提携された都市

Q

今般新たにウズベキスタン共和国フェルガナ州リシタン地区と姉妹都市提携をされたが、既存の 3 市も含め、姉妹都市提携の意義とは何か。

A

地方自治体や市民間の交流を通じ相互理解と信頼関係を構築し、家族のような深い絆を育み、国際理解に富む次世代の人材育成に寄与することを期待。



新政クラブ議員団
眞下 隆史

質問の
録画映像



提供元：株式会社遠藤克彦建築研究所
令和10年春頃共用開始の
「中央図書館完成予想図」

Q

図書館基本計画にもうたわれている内容かと思うが、改めて、東西の図書館を集約・統合して新たに建設する中央図書館の役割は。

A

京都府内で最大規模を誇る約 30 万冊の蔵書を最大限に活用し、困りごとに寄り添い、解決を支援する課題解決型図書館として機能強化を図る。



自民党鶴政クラブ議員団
水嶋 一明

質問の
録画映像



子どもに寄り添う教育支援センター
（「明日葉パンフレット」より）

Q

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの常駐配置、フリースクールへの支援強化の不登校対策で、子どもを人として尊ぶ条件整備を。

A

常駐配置は理想だが人材確保の面で課題がある。子どもの状況に寄り添い、その尊厳と学ぶ権利を守ることを最優先に、「多様な居場所」を確保。



日本共産党議員団
伊田 悦子

質問の
録画映像



安心できるまちづくり

Q

医療DXとアナログ支援の併用、認知症当事者への伴走型支援、野良猫対策へのクラウドファンディング活用等、安心できるまちづくりを問う。

A

救急相談の普及やマイナ救急の適切対応を推進し、認知症当事者の活動支援や野良猫不妊手術へのガバメントクラウドファンディング導入も検討する。



超党・市民ファースト議員団
廣瀬 昇

質問の
録画映像



トイレ不足解消に
トイレトレーラーを



Q

観光・イベントでのトイレ不足の課題と改善策、運用基準をどのように考えているのか。併せて災害時も含めたトイレトレーラーの活用を問う。

A

利用者数の想定や利用実態などで必要数を検討しており、利用者への案内表示の改善も図る。トイレトレーラーは現時点で課題も多く導入には慎重。



公明党議員団
松田 弘幸

質問の
録画映像



令和8年6月15日、16日、17日に本会議を開き、23人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問



時間外でも
市民が不便と感ぜない伝達手段を

Q 働き方改革で16時半から電話が繋がらず、自治会長など市民の不便や負担となっている。時間外でも要件を伝えられる別の連絡手段を講じられないか。

A 時間短縮により市民負担が増加との指摘は飛躍している。緊急時は代表電話で対応するが、DXを推進しコミュニケーション環境を整えてまいりたい。



新政クラブ議員団
野瀬 貴則

質問の
録画映像



今後の活躍が期待される女性消防団員

Q 消防団員の確保は、大変厳しい状況にあり、年々減少傾向である。一方で、女性消防団員の存在感が増していると感じるが、その推移について問う。

A 平成27年度に舞鶴市初となる女性消防団員3人が入団して以来、徐々に増加し、11年目となる令和8年度は、6分団24人が活躍されている。



自民党鶴政クラブ議員団
上野 修身

質問の
録画映像



エアコンの使用で熱中症を防ぎましょう

Q 酷暑対策として「低所得者世帯」「高齢者のみ世帯」「要支援・要介護認定者のみ世帯」等向けに「エアコン購入・設置支援」を事業化すべきでは。

A 基本的には個々の生活設計で備えていただくべきもの。経済的に困窮されている世帯へは、既存制度を柔軟に活用し、寄り添った支援を続けていく。



日本共産党議員団
小西 洋一

質問の
録画映像



駐車場の確保が望まれる中総合会館駐車場

Q 中総合会館に、こども家庭センター、子育て応援課、乳幼児教育推進課が移転され、ますます駐車場の確保が必要であるが、その考えについて尋ねる。

A 利用状況を把握し、今後の明日葉の移転、認定こども園の整備後の不足台数を予測する中で、近隣の未利用地の活用について、しっかり検討していく。



超党・市民ファースト議員団
高橋 秀策

質問の
録画映像



孤独・孤立防止策イメージ

Q 孤独・孤立対策として人材育成を踏まえた講座開設やボランティア・サポーター組織導入を早急に検討し、取り組みをされるべきではないかを問う。

A ボランティア主体の取り組みは支え合いの輪を広げる有効な手法と認識する。持続可能な育成方法や運営体制の在り方について検討してまいりたい。



公明党議員団
杉島 久敏

質問の
録画映像



令和 8 年 6 月 15 日、16 日、17 日に本会議を開き、23 人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問



新ガイドラインの小中学校への浸透度は

Q

いじめの重大事態の調査に関する新ガイドラインについて、本市の教育現場で、どのように周知を図ったのか、具体的な取り組みと進捗状況を問う。

A

万が一の事態に際して迅速に対応できるよう文部科学省の解説動画による研修を行い、危機感や目指すべき方向性について共通の認識を図っている。



新政クラブ議員団
眞下 弘明

質問の
録画映像



時間が短い中学校給食

Q

中学校給食の残食率とその要因は何か。私は現状の給食時間 20 分は短いと考えている。食育の観点からも延長すべきではないか。市の見解を問う。

A

残食率は 21%。14.8%の生徒が給食時間が短いことを理由に挙げている。給食時間延長には調整が必要であり、しっかりと研究してまいりたい。



自民党鶴政クラブ議員団
川口 孝文

質問の
録画映像



教育活動を支える遊具及び体育館

Q

学校遊具の老朽化対策や体育館利用の安全確保に向け、破損遊具の撤去等の管理体制を問うとともに、体育館の予約手続の運用改善について問う。

A

包括管理で遊具の点検・修繕・撤去を迅速化する。体育館の予約手続は課題もあると認識しており、利用実態や受益者負担等を検証し改善を進める。



公明党議員団
小谷 繁雄

質問の
録画映像



待ち遠しい病院再編の方向性

Q

病院再編が現実化したときには、多額の財源が必要となる。国からの補助ばかりをあてにはできない。病院再編への財源確保の計画をお尋ねする。

A

国の補助制度の活用について、協議を行っているところであり、市の財政負担の軽減と確実な財政確保に努めながら病院再編の実現に全力を傾注する。



新政クラブ議員団
田畑 篤子

質問の
録画映像



通行止めが続く浪速橋

Q

浪速橋の歩道橋は、市が令和 3 年度に実施した調査において損傷が確認され、現在は通行止めとなっている。いつ頃の復旧を予定しているのかを問う。

A

本工事は、河川内作業を伴うことから、出水期を避けた 10 月中旬以降に着手し、年度内の工事完成を目指して進めている。



自民党鶴政クラブ議員団
谷川 眞司

質問の
録画映像



令和8年6月15日、16日、17日に本会議を開き、23人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問



新設された学校生活相談係

Q 不登校支援は、「相談を待つ支援」から、「支援を届ける仕組み（プッシュ型支援）」が必要。今回学校生活相談係を設置した背景と、思い、目的は。

A 不登校の増加、いじめ、人間関係の複雑化を背景に体制を強化。悩みを早期に発見し、深刻化を防ぎ、専門機関と連携。寄り添った伴走支援に努める。



超党・市民ファースト議員団
福本 明日香

質問の
録画映像



市役所人事に責任を

Q 新たに参事へ就任された吉田参事は、過去に旧統一教会の関連団体との関係が新聞報道やネットの情報等で問題となっていたが、これは事実か。

A 吉田参事が過去に旧統一教会の関連団体と関係があったことは事実。本人も政治家としての判断を誤っていたと反省している。ただし、信者ではない。



新政クラブ議員団
山本 治兵衛

質問の
録画映像



一般的に使われているタブレット端末

Q 開票作業は心身ともに負担が大きいことから、働き方改革、DX 推進からも電子投票を推進するべきと考えるが、市の考え方を問う。

A 電子投票機器の技術革新や価格の動向、他の自治体の導入事例やコスト削減への取り組みなどを注視しながら、最適な選挙事務の在り方を研究する。



自民党鶴政クラブ議員団
尾関 善之

質問の
録画映像



舞鶴市議会の情報発信

舞鶴市議会の情報発信の方法として、まいづる市議会だよりやホームページのほか、YouTube、Facebook、FM放送などを活用し、相互にリンクさせながら、皆さまに届く広報を目指して取り組んでいます。

YouTube

本会議や委員会のライブ配信・録画配信に加え、定例会の概要報告や委員会の活動報告など、舞鶴市議会がどのような活動をしているかをお知らせする動画を配信しています。

また、さらに多様な情報を発信したいとの思いから、FM放送部会で企画を練り、会派の紹介や女性議員からのメッセージなど、定期的に動画を作成して配信しています。



チャンネル登録
お願いします！



Facebook

本会議や委員会の開催予定、内容報告、行事のお知らせなどを短い文章で写真等を添えて発信しています。

また、その投稿からホームページや動画をご覧いただけるようにリンクを貼り付け、詳しく知りたい方に、その入口として活用いただける発信に努めています。



Facebookの
フォローを
お願いします！



「みんなでほっとミーティング」 を開催しました

舞鶴市議会では、まちづくりの主役である「市民の皆さま」と、住民自治の根幹である「市議会」が一緒に舞鶴市の将来（よりよいまちづくり）について考え、市政に反映させるために、市民の皆さまとの意見交換の場として、定例会の翌月を目途に、「議会と未来を語ろう ～みんなでほっとミーティング～」を開催しています。

令和8年7月12日には、中総合会館において、以下の内容で開催しました。

6月定例会の概要報告

- ・審議した議案等の基本的事項の説明
- ・質疑応答（参加者⇄議員）



舞鶴市の将来に向けた意見交換

（参加者⇄議員）

「子育てしやすいまちとするためには、どのようなことが必要か」について意見交換

「舞鶴市の将来に向けた意見交換」では、助け合いや支え合いの精神が薄れてきていることへの懸念、災害時における地域コミュニティの重要性、老人福祉の分野における地域での支え合いの必要性、市民憲章の必要性、郷土愛の醸成に関する子どもたちへの教育、自治会等の組織の横連携などのほか、舞鶴市議会の取り組みに関することも含めて、参加者の皆さまからさまざまな意見が出され、議員も自身の思いを述べるなど、貴重な意見交換の場となりました。

今回の内容と参加者へのアンケートの結果は、ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



9月定例会予定

8月 ※予定は変更することがあります。

31日(月) 本会議（開会・提案説明）

9月

7日(月) 請願受理締切
10日(木) 本会議（代表質問）
11日(金) 本会議（一般質問）
14日(月) 本会議（一般質問、議案質疑）
16日(水) 予算決算委員会分科会・常任委員会
17日(木) 予算決算委員会分科会・常任委員会
18日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会
24日(木) 予算決算委員会分科会・常任委員会
29日(火) 予算決算委員会（総括質疑・討論・採決）

10月

5日(月) 本会議
（委員長報告・質疑・討論・採決・閉会）

議会ナビまいづるのリニューアルに 対するご意見を募集します

意見箱

いつも「議会ナビまいづる」をご覧いただきありがとうございます。

市議会では、「市民に開かれた議会」を目指し、紙面のリニューアルを進めています。今回は「若い人が読みたい議会だより」をテーマに高校生との意見交換会も特集しました。

今後のより良い紙面づくりのため、今回のリニューアルに対する率直なご意見を募集します。デザインの感想や「こんな記事が読みたい」といったご要望などを、ぜひお聞かせください。頂いたご意見は、次号以降の編集の参考とさせていただきます。

ご意見は専用フォームまたはFAXまでお寄せください。

皆さまと共に良い紙面を作りたいと考えております。ご協力をお願いいたします。

